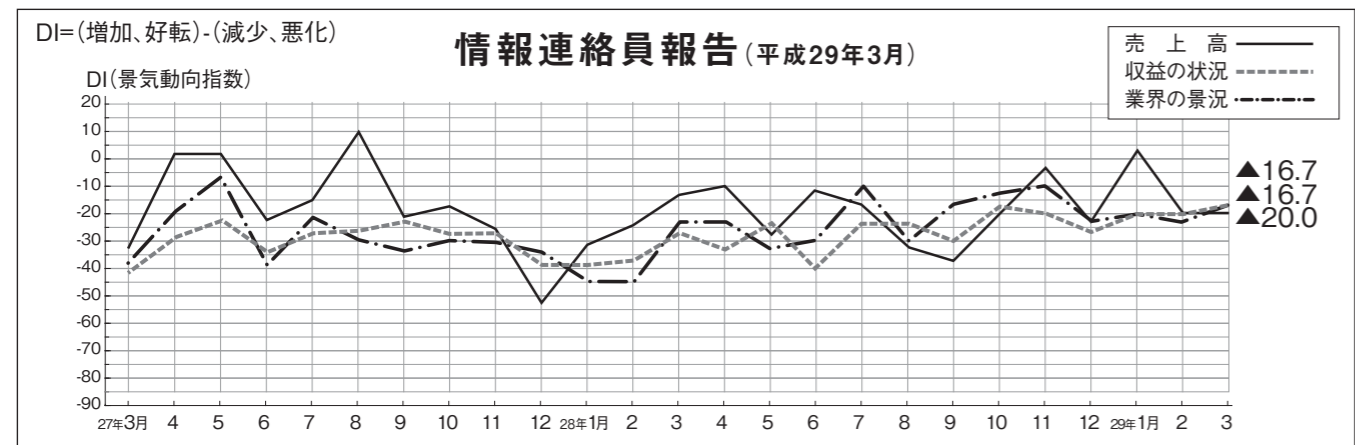


情報連絡員報告を中心とした 県内各業界別の動向

2017年3月(前年同月比)



業界の状況

- ☀️...好転
- ☁️...やや好転
- ☁️...不変
- ☁️...やや悪化
- ☔️...悪化

<p>食品団地</p> <p>3月度商況は、県外向けが売上微増。県内は昨年並み。3月下旬から観光関連食材は上昇傾向となってきた。鶏肉関連でブラジル産原料の品質問題が発生し、国産鶏肉の需要が急激に高まり、相場が上昇中。</p>	<p>印刷</p> <p>維新博等観光がらみで官公需は好調。一般印刷物も前年並みを確保した模様。県外需要は業種によって波があり全体では前年並みか。いずれにしても徐々に前年を上回った模様。</p>
<p>酒類製造</p> <p>県外、純米酒の出荷順調で輸出も順調に推移。全体では前年に届かず。</p>	<p>生コンクリート製造</p> <p>出荷数量は前年同月比104%。</p>
<p>水産食料品製造</p> <p>今年は水温が低く、一本釣りうめが遅くまで操業できているようだ。反面、シラの漁が遅く在庫が底をついた。売れ筋商材で様々な用途に活用できる品なので頭が痛い。カツオ原魚の高値は深刻な状況。</p>	<p>機械団地</p> <p>売上や収益などが落ち込む企業も見られるが、概ね前年同月並みの水準を維持している。関係業界の景況も特に変化は見られず、団地内の景気は横ばい状態が続いている。</p>
<p>外衣・シャツ製造</p> <p>大手企業の販売力が低下し、前年に比べ在庫引取り時期が遅れ、シーズン物の受注が激減している。中小企業ならではの品質や技術を駆使した商品の開発等、大手に振り回されない力が求められる。</p>	<p>刃物製造</p> <p>職人の減少、高齢化により製品の仕上がり状況が悪く、多くの注文が残ってしまった。もう少し、供給できれば昨年の実績を上回ることができたのではないかとされる。</p>
<p>木製品素材生産</p> <p>3月はスギ、ヒノキともに量・価格は前月比横ばいであった。</p>	<p>船舶製造</p> <p>引き続き高い操業度で推移しています。</p>
<p>製材</p> <p>全般に活発な状況はみられず、原木・製品価格等にも大きな変動はなく低調に推移。</p>	<p>珊瑚装飾品製造</p> <p>3月度製品会取引高は前年度同月比142%であった。原木高騰が続く小売店売上は低迷状態。第41回さんごまつりは県内外から多数来場があり珊瑚の加工技術力の魅力を広く発信できた。また結婚35周年を祝う珊瑚婚式も成功裏に終わった。</p>
<p>製紙</p> <p>花粉症の時期となり保湿テック関連製品は生産、出荷共にフルである。トレットも順調に推移している。</p>	<p>卸団地</p> <p>外食業界全体に昨年同月比では若干好転しているように見えるが、幕末維新博などのプラス要因が影響した程度。むしろ現状は、労働力不足による労務費アップ等で、苦戦している企業が多くなっているようだ。</p>

青果卸売

前年販売が好調でしたが、今年に入り販売が伸びず、3月は前年比95.3%となった。

商店街(四万十市)

40年ぶりの中村高校の甲子園出場で盛り上がった四万十市。応援ツアーはバス50台があったという間に埋まり、試合当日は街から人が消えたが、売上に関しては「今月は厳しい」という声が多かった。

生鮮魚介卸売

カツオの入荷は3月前半は少なかったですが、後半には順調に入荷がありました。マグロの入荷は輸入物が少なく、近海物は順調に入荷しましたが全般的に少なかったです。小物も全般的に入荷量が少ないです。

旅館・ホテル

例年になく寒い3月で桜の開花も遅れたが、高知城歴史博物館のオープン、幕末維新博のスタートもあり、観光宿泊客もゆるやかに増加している。

各種小売(土佐市)

若干ではあるが、昨年と同時期に比べると好転しているように思われる。

飲食店

あまり変わらないですが、食肉加工センターの問題は存続をお願いしたい。飲食業界としては肉類の値上げ、鮮度を心配しています。

各種小売(安芸市)

3月はひな祭りを商店街一帯で行い、普段よりは人の出入りがあった。

旅行業

組合クーポン売上前年同月比85%、全旅クーポンを加味して76%。若干顧客の動きが鈍く感じている。春のシーズンの動向に期待したい。

ガソリンスタンド

原油価格はバーレル53~54ドルで推移。原油コストは急激な変動は無かった。高知県のガソリン・軽油の小売り価格は2カ月半ぶりに転嫁値上げとなり、県西部は140円台もみられた。

一般土木建築工事

3月の公共工事請負金額は前年同月比で181.6%、前年対比累計金額では125.1%。防波堤工事や東部自動車道、幡多路の高速道路の延伸など大型工事が継続。発注が多い3月は平準化になり、組合員にとって少しでも経営が安定する。

電気機械器具小売

3月度は、前年比全商品平均で88%ぐらい。特に、冷蔵庫は84%。その中で少し良かったのが、4K対応の大画面テレビで、前年比124%と伸びている。

電気工事

組合員の施工する電力引込線関連の工事量は1%増の前年同月比101%となった。低水準ではあるが28年8月以来の久しぶりの増であるので来月以降も期待したい。

中古自動車小売

3月は仕入価格の上昇に伴い、販売価格も若干上昇しています。業界の景況としては前年同様に伸び悩みです。

一般貨物自動車運送

荷動きは前年と同様だったようで、組合実績もほぼ横ばいとなった。燃料価格は数円の値上げとなり、年度末の経営を圧迫した。来年度も燃料価格の動きは不透明で不安が残る。

商店街(高知市)

中央公園地下駐車場利用状況(前年比) 売上71.5% 利用台数105.1%。高知城歴史博物館の開館、幕末維新博の開幕、クイーンエリザベスの初入港など、天候にも恵まれ多くの人出で賑わいを見せました。

タクシー

実働1日1車当り前年同月比は営業収入:102.7%、輸送回数:100.9%。当月の実働率は69.2%。労働者不足により実働率が悪い。10年前の実働率をみると平成19年3月は87.2%で落ち込み悪くなっている。

**挑戦の数だけ、
保険がある。**

To Be a Good Company

TOKIO MARINE NICHIDO 東京海上日動